

社会資本総合整備計画 事後評価書															
計画の名称	千葉市公共下水道事業（重点計画）														
計画の期間	平成29年度 ～ 平成30年度（2年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	千葉市														
計画の目標	循環型社会を構築するとともに、閉鎖性水域である東京湾の水質を改善するため、高度処理等を段階的に導入し、処理水質の向上を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		571	A	571	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(H30末)
1	①計画の期間内で、資源有効利用施設の整備を行うことで、汚泥処理過程で発生する消化ガスを有効利用し、地球温暖化対策に貢献する。			
	①下水汚泥のエネルギー化率 30.0%⇒50.0%	30%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	千葉市	直接	千葉市	終末処 理場	新設	資源循環形成（処理場）	消化設備、付帯施設	千葉市	■	■				571		—
		重点計画																	
											小計						571		
											合計						571		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

評価（案）に対して第三者の学識経験者に意見聴取を行い、意見等を反映させた後、評価（案）を市ホームページにて2週間公表し、当該期間中意見の受付を行うものとする。市民意見等を反映した後、事後評価書を市ホームページで公開する。

事後評価の実施時期

令和4年4月

公表の方法

市のホームページにて公表する。

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

【指標①】資源有効利用施設（消化タンク）を建設したことにより、汚泥エネルギー化率を向上させ、地球温暖化に貢献した。

定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・第3期以降の社会資本総合整備計画においても、循環型社会の構築や高度処理の導入等を推進していく。
- 【学識経験者の意見】
- ・当初計画のままの目標値にするのではなく、他の計画の変更や事業の進捗に合わせ、目標値を変更してもよかったのではないか。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	①下水汚泥のエネルギー化率		
	最 終 目標値	50%	目標値と同値
	最 終 実績値	50%	